

特別活動

【ICTを活用するポイント】実際の体験を重視する特別活動においてICTの活用は、自己や集団の現状把握や話し合いにおける思考の活性化を促すことがポイントです。

子供の視点から

①事前の準備

例) 日常生活における課題をつかむために、アンケートソフトを活用して、情報を収集する。質問項目を偶数にすることで、全体の傾向をつかみやすくすることができる。情報を整理し、提示を工夫することで、自己や集団の課題を明確にする。

②話し合い活動

例) 話し合い活動を活性化させるためのアプリケーション活用をしたい。また、少数意見を見逃さず、全体の中で位置づけ生かす工夫をしたい。

教材の視点から

学級活動(1)

例) 学習支援ソフトで、議題を提示し、共通の課題認識をもつ。また事前に自己の考えをまとめてから、話し合いに入る。

学級活動(2)(3)

例) 意思決定の継続化を図るために、プレゼンテーションソフトで目標を見える化したり、コメント機能で互いにコメントを寄せたりする。

自分とみんなの課題を解決する特別活動

児童会活動・生徒会活動

例) 学級集団を越える活動となるため、評価者が学級担任以外もあろう。そのため、表計算ソフトを用いて、児童生徒が振り返りを行うことで、評価を指導に生かしやすくなる。

問題解決の過程の視点から

学級活動(1)

例) 解決方法等の話し合いの4段階 ①出し合う ②比べ合う ③まとめる ④決めるにおいて、付箋ソフトを活用し、意見を活発に出し合い、思考の視覚化を図る。

学級活動(2)(3)

例) 解決方法等の話し合いの4段階 ①つかむ ②さぐる ③見つける ④決めるにおいて、アンケートソフトを活用し自己の現状把握を行う。

児童会活動・生徒会活動

例) 児童総会、生徒総会における議案書配布はタブレットを用いて行う。採決はアンケートソフトを活用する。

StuDX Style (文部科学省より)

小学校・特別活動「学級活動におけるICT活用」(mext.go.jp)



実践報告 中学校1年生「給食準備をよりよくするには」

アップデートしよう

- ①クラウドアンケートを使ったクラス実態把握
- ②ポジショニング機能を使った思考の見える化
- ③全体の傾向から離れた意見を大切に話し合い

使用したアプリ

・クラウドアンケート

・ポジショニング

ポジショニングマップにマーカーを利用し、ポイントする。そのポイントはIDに紐づけされているので、瞬時に共有できる。

本時のねらい

給食準備をよりよくするために、ポジショニング機能を活用し、クラスみんなで協力して日常生活の向上を図る。

課題をつかむ	アンケート	事前のアンケートから議題を確認する。 写真①②③	★学級活動(1)の話し合い活動では、生徒による進行によって、話し合いを深めていきます。 ★ポジショニング機能で自分の考えを明確にするとところから話し合いが深まっています。
解決方法を探る	ポジショニング	解決の方法をグループで話し合う。写真④	
決定・実践	ポジショニング	全体で話し合う。各教科での学びを生かした指名の仕方により、少数の意見を大切に話し合い活動が行われる。決定したことを実践する。写真⑤⑥	



生徒の姿から

事前のクラウドアンケート調査「給食の時間をよりよくするために、こうしたいという願いはありますか」のグラフを司会者が示し、議題「給食準備をよりよくするにはどうすればいいか考えよう」を提案しました（写真①②③）。

解決方法を話し合う場面で、グループでは小学校の経験を生かし、移動教室前の準備や給食当番ではない人の手伝いなどのアイデアが複数出されました（写真④）。

縦軸「一人一人が意識すること」と「みんなで協力すること」、横軸「難しそう」と「できそう」の座標軸に対し、「授業が終わったらしゃべらないですぐ準備する」の問いにクラス全員でポジショニング機能により自分の考えの位置を示しました。全体の傾向から離れた場所にいる生徒を司会が指名し、そこに位置する理由を引き出しながら、クラスとしての具体的な解決方法を話し合いました（写真⑤）。

クラスとして決定したことを、その日の給食準備から実践に生かしました（写真⑥）。

授業者の先生から

社会科や道徳でもポジショニング機能を用いた話し合いを取り入れています。司会の生徒が社会科や道徳での学び方を生かして、少数の意見を大切にしながら話し合いを展開していた姿が見られ、とてもよかったなと感じました。座標軸に示した4つの視点が話し合いを深める視点となっていたか、今後も研究を深めたいと思います。

この事例のポイント

- ・ポジショニング機能を用いて、自己の考えを明確にした上で話し合いが展開されたことにより、全体の傾向をつかむことができます。少数の意見から考えを聞くことで、少数の意見を生かす合意形成へとつながりました。
- ・他教科での学びを生かした話し合いが展開されました。どの教科でも使えるポジショニング機能の有効性が見えました。

